

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校 開校準備委員会通信

Vol.7

令和8年6月

本通信は、開校準備委員会の各ワーキンググループの意見交換の内容を含めながら、本部会の意見交換の状況についてまとめたものです。

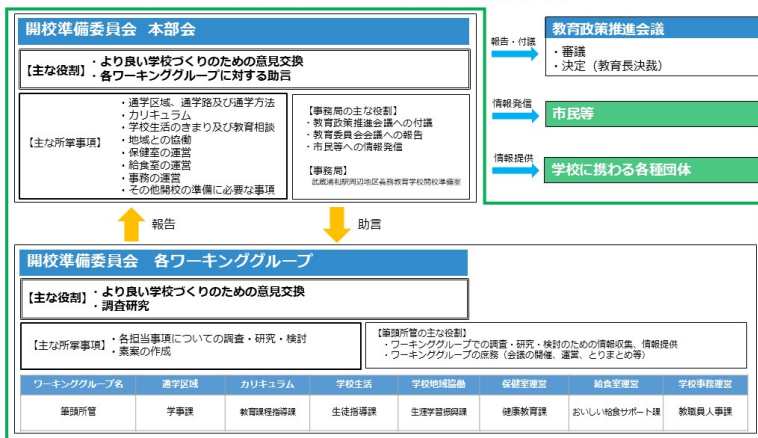
1 開校準備委員会本部会（第7回）の会議概要

- 日時 令和8年5月29日（金）17:30～18:45
- 場所 さいたま市立沼影小学校 プレハブ校舎2F
- 次第 教育長挨拶
 1. 第二期開校準備委員会について
 2. 第一期開校準備委員会の意見交換内容について
 3. カリキュラムWGからの報告（日課表・クラブ活動について）
 4. 学識経験者より
 5. その他

- 第7回本部会では、第二期参加者による初めての会議となることから、開校準備委員会の概要や第二期の活動予定について説明を行いました。
- 併せて、第二期に意見交換を引き継ぐため、第一期の内容の振り返りや、第一期で行われたカリキュラムWGからの報告を行いました。
- 冒頭、新設沼影校舎の建設工事が三度目の入札不調となったことについて、教育委員会として重く受け止めていること、要因の分析と対応策を早急に考案する方針であることを説明しました。
- 参加者の方からは、入札不調について残念に思うお声をいただいた一方で、建設工事が始まったときに遅れを取らないように準備を進めていきたいというお声をいただきました。

2 第二期開校準備委員会について

- 第二期開校準備委員会は、第一期の成果を土台とし、引き続き学校・家庭・地域の参加者の方々と行政が連携し、より良い学校づくりのための意見交換を行っています。
- 第二期本部会では、第一期本部会で練り上げた本義務教育学校「未来の姿」の三つの柱の実現に向けた意見交換を行っています。
- 各WGにおいては、第一期の意見交換をより具体化した内容や、新たな内容などについて調査研究を行います。



▲第二期開校準備委員会組織のイメージ図

3 カリキュラムWGからの報告

- 令和7年度中に行った2回のWGでの意見交換の内容について報告しました。

<WGにおける主な意見交換>

- ・日課表については、子どもがゆとりをもって生活できることや、集中して学習できる環境づくり、自らの興味・関心を伸ばす時間の確保などの観点から意見交換を行った。
 - ⇒以下の方向性で、事務局と学校が関わりながら検討していく。
 1. 子どもや保護者、地域の声を踏まえながら、従来の常識にとらわれない柔軟な日課表を検討する。
 2. 児童生徒の実態に応じ、落ち着いて取り組める環境づくりを、時間配分だけでなく学習・活動内容の工夫も手段として検討する。
- ・クラブ活動については、校舎が分かれている状況での活動のあり方、児童主体の活動による各学年への活躍の機会の保障といった観点から意見交換を行った。
 - ⇒以下の方向性のもと、事務局と学校が関わりながら検討していく。
 1. 校舎は異なっても一つの学校として、4～6年生を中心としたクラブ活動となるようにする。
 2. 子ども主体の活動となるよう、校舎ごとにクラブ編成を決められるようにする。
 3. 4年生が中心的に活躍できるクラブ活動や、3年生が参加し、3～4年生と5～6年生という組み合わせでの実施も検討する。
 4. 校舎間の交流（対面・オンライン）や交流会の実施により、互いの活動のよさを共有できる機会を設ける。

【学識経験者からのコメント（概要）】

- 三度の入札不調という厳しい状況ではあるが、開校に向けた意見交換を充実させる機会にできるとも捉えられます。第一期で共有された本義務教育学校の「未来の姿」を土台として、第二期ではその土台に対しての意見交換や取組をお支えしたいと思います。
- 現在一般的に小・中学校が取っている授業の一コマは歴史的に形成されてきたものです。実際には、児童生徒の集中力維持の観点から、一コマの中で教員が話題を変えるなど工夫しています。実際、他自治体での先行事例ではより短い時間を設定し、早い段階で適応しているとの事例もあります。そうした先行事例も参考としながら意見交換を進められるとよいと思います。

